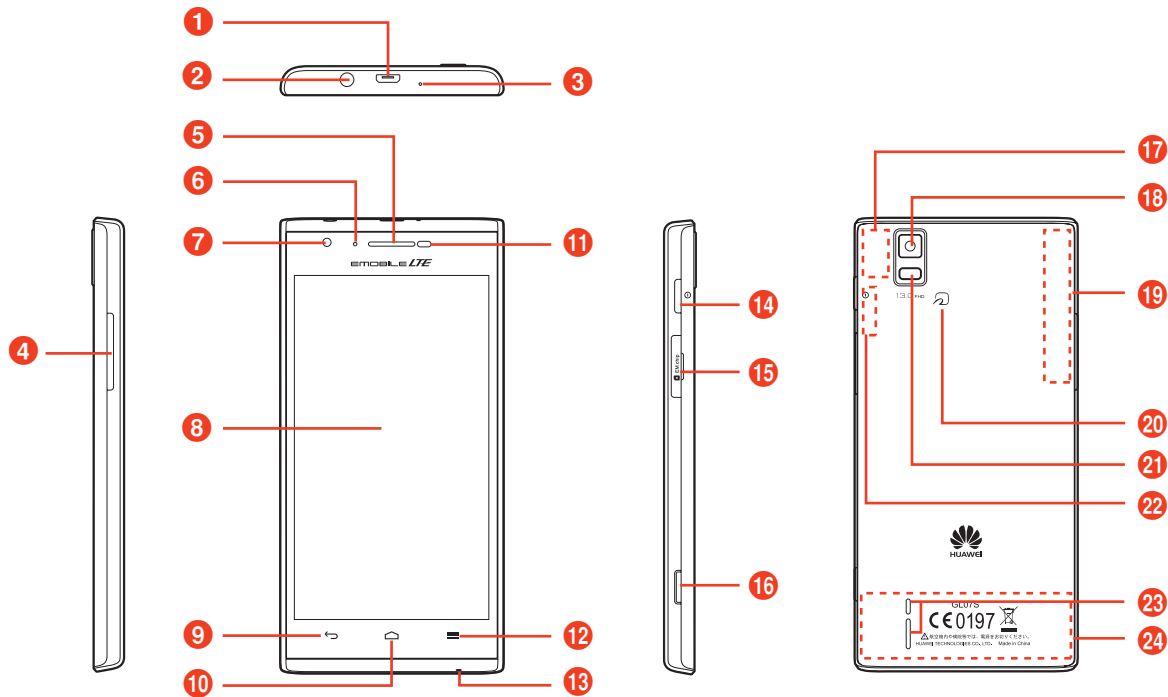


ご使用前の確認

1

各部の名称と機能	P.29
EM chip<micro>について	P.31
SoftBank 3Gエリアでの利用について	P.34
PINコード	P.34
充電機器のお取り扱い	P.35
電源を入れる／切る	P.37

各部の名称と機能



1 microUSB端子／充電端子

- 付属のUSBケーブルを接続して、パソコンなどへの接続や充電に使用します (▶P.36、P.169)。

2 イヤホンマイク端子

- イヤホンマイク (3.5mm径端子) などを接続します。
- お使いのイヤホンマイクの仕様によっては、音が聞こえなかったり、通話中に挿すと切れたりすることがあります。事前に使用できることをご確認ください。

3 サブマイク

- 通話時のノイズ音を低減するために使用されます。

4 音量上／下キー

- 着信音量や通話音量、音楽の再生音量などを調節します。

5 受話口

- 通話相手の音声が届きます。

6 LEDランプ

- 充電時や電池残量が少なくなると点灯、点滅します (▶P.36)。
- ディスプレイ消灯時、点滅して不在着信や新着メールを通知します。

7 インカメラ

- 自分を撮影するときなどに使用します。

8 ディスプレイ (タッチパネル)

- 指で直接触れて操作できます (▶P.45)。

9 戻るキー (タッチキー)

- 直前の画面に戻るときに使用します。

10 ホームキー (タッチキー)

- ホーム画面に戻ります。
- ロングタッチすると、最近使用したアプリケーションの一覧が表示されます (▶P.52)。

11 調光センサー／近接センサー

- 周囲の明るさを感じて、ディスプレイの明るさを調整します。
- 通話中に顔などが近づいたことを感知します。

12 メニューキー (タッチキー)

- 各画面でメニューを表示するときを使用します。

13 送話口 (マイク)

- 通話相手に自分の音声を送るときや録音などに使用します。

14 電源キー

- 本機の電源が切れているときに2秒以上長押しすると、電源が入ります。
- 本機の電源が入っているときに長押しすると、マナーモードや機内モードに設定したり、電源を切ったりすることができます。
- 本機の電源が入っているときに押すとディスプレイの点灯／消灯ができます。消灯すると自動的に画面ロックがかかります。

15 EM chip<micro>スロット

- EM chip<micro>を取り付けます。

16 カメラキー

- 長押しすると、カメラを起動します。
- 静止画撮影／動画撮影画面表示中に押すと、静止画／動画を撮影します。

17 GPSアンテナ部分*

18 アウトカメラ

- 静止画や動画の撮影などに使用します。

19 LTEアンテナ部分*

20 FeliCaマーク

21 フラッシュ

- カメラの撮影時に点灯できます。

22 Bluetooth®／Wi-Fiアンテナ部分*

23 スピーカー

- 着信音や再生中の音楽などが流れます。

24 3G／GSM／LTEメインアンテナ部分*

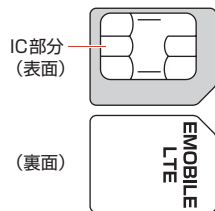
*:アンテナ付近を手で覆うと、通話、通信品質に影響を及ぼす場合があります。

EM chip<micro>について

EM chip<micro>をご利用になる前に

EM chip<micro>（エムチップ<マイクロ>）は、お客さまの電話番号や情報などが記録されたICカードです。EM chip<micro>対応のイー・モバイル携帯電話または機器に取り付けて使用します。EM chip<micro>が取り付けられていないときは、日本国内における電話の発着信などLTE／3Gネットワークによる通信機能が利用できません。

- 他社製品のICカードリーダーなどにEM chip<micro>を挿入して故障したときは、お客さまご自身の責任となり、当社では責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- EM chip<micro>にラベルやシールなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。
- EM chip<micro>の詳しい取り扱いにつきましては、EM chip<micro>の台紙に記載されている注意事項、および取扱説明をご覧ください。



その他の注意

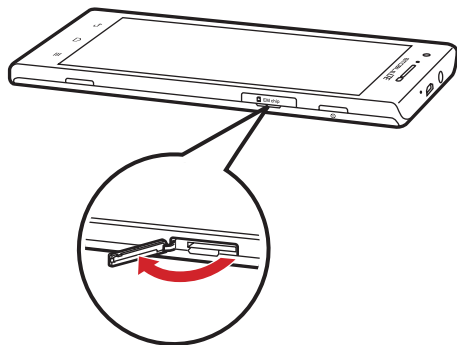
- 使用中にEM chip<micro>を取り外すと本製品が正常に動作しなくなりますので、本製品の電源が入っている状態では絶対に取り外さないでください。
- EM chip<micro>は、当社が指定するネットワーク以外では使用できません。
- EM chip<micro>の所有権は当社に帰属します。
- 紛失、盗難時などEM chip<micro>の再発行は有償となります。また解約時は当社にご返却ください。
- EM chip<micro>の仕様、性能は予告なしに変更となる場合があります。
- お客さま自身でEM chip<micro>に登録された情報内容などは、メモなどに控えておいてください。万が一、登録された内容が消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- EM chip<micro>やEM chip<micro>装着済み本機を紛失・盗難された場合には、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（☎P.255）までご連絡ください。

EM chip<micro>の取り付けかた／取り外しかた

- EM chip<micro>の取り付け／取り外しのときに無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- EM chip<micro>の取り付け／取り外しのときは、必要に応じて同梱の専用工具（試供品）をご使用ください。
- EM chip<micro>の取り付け／取り外しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください（▶P.37）。

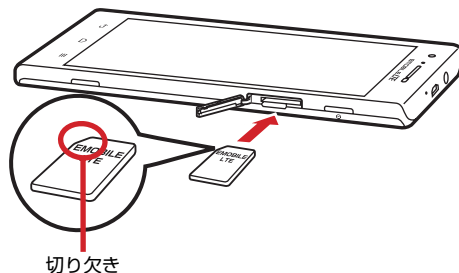
EM chip<micro>を取り付ける

1 EM chip<micro>スロットカバーを開く



2 EM chip<micro>のIC部分を下にして、カチッと音がするまでゆっくり差し込む

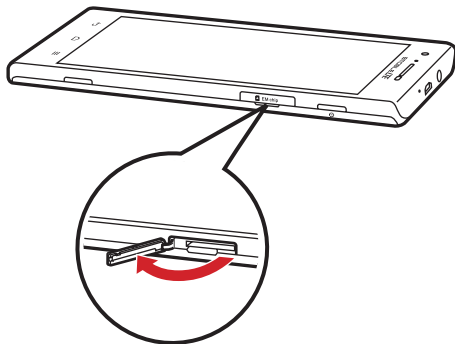
- EM chip<micro>が完全に取り付けられていることを確認してください。
- EM chip<micro>の取り付け／取り外しのときは、IC部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。
- EM chip<micro>が差し込みにくいときは、同梱の専用工具（試供品）を利用して差し込んでください。



3 EM chip<micro>スロットカバーを閉じる

EM chip<micro>を取り外す

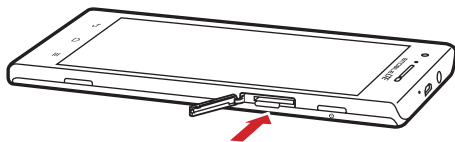
1 EM chip<micro>スロットカバーを開く



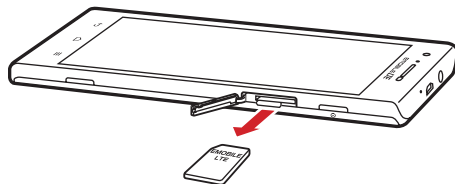
2 EM chip<micro>を押し込む

EM chip<micro>が少し出てきます。

- 押し込んだ後は、ゆっくり離してください。
- EM chip<micro>が押し込みにくいときは、同梱の専用工具（試供品）を利用して押し込んでください。



3 EM chip<micro>を引き出して取り外す



4 EM chip<micro>スロットカバーを閉じる

SoftBank 3Gエリアでの利用について

本機は、イー・モバイルのサービスエリア外で自動的にSoftBank 3Gネットワークに接続して、通話や通信ができます。

- SoftBank 3Gネットワークに自動的に接続するには、「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定しておく必要があります。

■お知らせ

- 本機にEM Chip<micro>を取り付けている場合に利用できます。
- SoftBankの4G (LTE) ネットワークには接続できません。

PINコード

EM chip<micro>には、PIN/PIN2と呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、他人に知られないように十分ご注意ください。

また、PIN/PIN2の入力を続けて3回間違えた場合は、間違えた方のPINがロックされ、使用できなくなります (PINロック状態)。ロックを解除するには、PINロック解除コード (PUK) の入力が必要になります。

PINコード

PINとは、第三者による本機、またはEM chip<micro>の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- PINコードは変更できます (▶P.222)。
- EM chip<micro>を本機に取り付けて電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本機を使用できないようにすることができます (▶P.222)。

PIN2コード

PIN2とは、EM chip<micro>に記録されている情報を変更する場合などに入力する4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- 2013年12月現在、PIN2コードに関するサービス/機能は利用できません。

PINロック解除コード (PUKコード)

PINコードの入力を3回続けて間違えると、PINロックが設定されます。PINロック解除コード (PUKコード) を入力すると、PINロックは解除されます。

- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先 (▶P.255) までご連絡ください。

お知らせ

- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えた場合は、EM chip <micro> がロックされ、使用できなくなります (EM chip <micro> ロック)。EM chip <micro> がロックされた場合は、ロックを解除する方法はありませんので、新たなEM chip <micro> と交換する必要があります。また、手続きにともない所定の手数料が請求される場合があります。手続きの詳細については、お問い合わせ先 (▶P.255) までご連絡ください。
- 買い増しなどにより、別のイー・モバイル携帯電話やEM chip <micro> 対応機器にご利用中のEM chip <micro> を取り付けてご使用になる場合は、ご利用中のEM chip <micro> に設定されているPIN/PIN2が有効となります。

充電機器のお取り扱い

充電機器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- 充電時間、待受時間、通話時間などの目安は、「主な仕様」 (▶P.247) をご参照ください。
- 本機、ACアダプタ、USBケーブルの金属部分 (充電端子) が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがありますので、乾いた綿棒などで拭いてください。
- 本機の利用可能時間は、充電/放電の繰り返しにより徐々に短くなります。

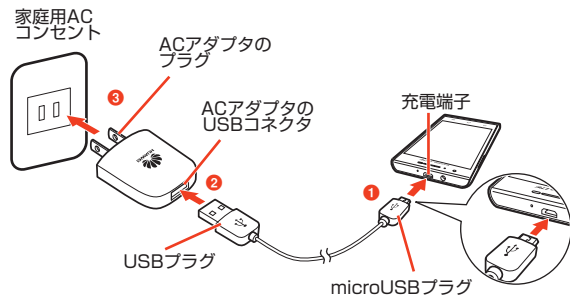
内蔵電池の残量表示について

本機の内蔵電池の残量は、ステータスバーのステータスアイコン (▶P.43) で確認できます。また、ホーム画面で「設定」→「端末情報」→「端末の状態」をタップすると、「電池残量」の下にパーセント表示で内蔵電池の残量が表示されます。

- 電池残量が約20%未満になると、画面ロック解除画面に充電を促すメッセージが表示されます。
- 電池残量が10%以下になると、LEDランプが赤く点滅します。
- 電池残量が約2%未満になると、通知音とともに電池が空になったため、約30秒後にシャットダウンする旨のメッセージが表示され、自動的に本機の電源が切れます。本機を再起動する場合は、充電してから電源を入れてください。

充電する

付属のACアダプタとUSBケーブルを使用して充電します。





1 本機の充電端子にUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む (1)

- USBケーブルを取り付けるときは、正しい方向に無理なく取り付けてください。逆方向に取り付けようとする、破損や故障の原因となります。

2 ACアダプタのUSBコネクタにUSBケーブルのUSBプラグを差し込む (2)

3 ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントに差し込む (3)

充電が開始され、ステータスバーにが表示されます。充電が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

- 充電中はLEDランプが点灯し、点灯色で充電状態の目安がわかります。電池残量が10%以下の間は赤、90%までの間はオレンジ色、90%以上は緑色に点灯します。

4 充電が完了したら、家庭用ACコンセントからACアダプタのプラグを抜き、USBケーブルを本機とACアダプタから抜く

■ お知らせ

- ACアダプタのプラグは日本国内仕様です。
- USBケーブルを使用して本機とパソコンを接続しても、本機を充電できません。ただし、一部の機種を除いて、パソコンの電源を切った状態では充電できません。
- 充電には必ず本機付属のACアダプタおよびUSBケーブルをご使用ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 〇（電源キー）を2秒以上長押し

- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（▶P.38）。

■ 画面ロックがかかっている場合

- 〇（電源キー）を押してディスプレイを点灯させます。
- お買い上げ時は、画面ロックの解除セキュリティが「2Dロック解除」に設定されています。⑥を下方方向に表示される⑥の位置までドラッグして、ロックを解除してください。
 - 画面ロックの解除セキュリティを「2Dロック解除」以外に設定している場合は、設定中の解除方法でロックを解除してください（▶P.223）。

■ EM chip<micro>ロックがかかっている場合

EM chip<micro>ロック（▶P.222）を設定している場合は、PINコード（▶P.34）の入力による認証が必要です。入力画面が表示されたら、PINコードを入力して「OK」をタップしてください。

お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- 〇（電源キー）を押した後、本機の反応がない場合は、充電が不十分なことがあります。充電完了後、再び操作を行ってください。

電源を切る

1 〇（電源キー）を2秒以上長押し



2 「電源を切る」→「OK」

- マナーモード（▶P.56）や機内モード（▶P.57）を設定することもできます。

お知らせ

- 〇（電源キー）を2秒以上長押ししても本機の反応がない場合は、〇（電源キー）を10秒以上長押しすると、強制的に再起動させることができます。

再起動する

1 ◯（電源キー）を長押し

2 「再起動」→「OK」

■お知らせ


- ◯（電源キー）を10秒以上長押ししても、再起動できます。

初期設定

はじめて電源を入れたときや、「データの初期化」(▶P.232)を行った後は、初期設定としてGoogleアカウントなどの設定を行います。電源を入れてしばらくすると、「ようこそ」画面（初期設定の開始画面）が表示されます。画面の指示に従って設定します。

- ここでは、EM chip<micro>が取り付けられた状態で、はじめて電源を入れたときの初期設定を説明します。
- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。詳細については、「スマートフォンの自動通信について」(▶P.19)をご参照ください。

1 「開始」

- 日本語以外の言語を表示させたい場合は、「日本語」を上下にスワイプ/スライドして言語を選択します。
- 「緊急通報」をタップすると、緊急通報ができます。



2 Googleアカウントを設定する

Googleアカウントの設定が終了すると、ホーム画面が表示されます。

- お持ちのGoogleアカウントを利用する場合は「はい」をタップして「既存のアカウントを使う」(▶P.101) 操作2~8を、新規に作成する場合は「いいえ」→「アカウントを作成」をタップして「新しいアカウントを作成する」(▶P.104) 操作2~12をご参照ください。
- Googleアカウントを後で設定する場合は、「いいえ」→「今は設定しない」をタップし、画面の指示に従って操作してください。